■各整備計画における対象事業一覧

令和8年3月

令和7年度の整備計画（パッケージ）

分類	番号	計画（パッケージ）名称	計画の目標	計画期間	アウトカム指標	対象事業の主な施策
防災・安全交付金	39	**防災・安全を支える道路ネットワーク強化**	暮らしの安全・安心を確保するため、防災・減災・老朽化対策や交通安全対策等を推進し、積雪寒冷・広域分散型社会を支える北海道の道路ネットワークを強化する。	R5～R9	道路危険箇所の対策率の向上 対策済み箇所数／要対策箇所数 初期値：27%　中間：40%　最終：49% 交通安全対策率の向上 対策済み延長／要対策延長 初期値：0%　中間：46%　最終：61%	・防災系改築 ・防災対策（落石、地すべり、越波、冠水等） ・橋梁耐震補強 ・雪寒（防雪対策、路盤改良等） ・雪寒機械（更新・増強） ・歩道整備（新設、現道拡幅、歩道、自歩道等） ・視距改良、交差点改良、中央帯、カラー舗装、端末防護、 ・修繕　※個別施設計画に基づく道路構造物修繕を除く
	38	**子供の移動経路等の生活空間における交通安全対策推進** **【重点計画】**	暮らしの安全・安心を確保するため、通学路交通安全プログラム等に基づく要対策箇所の交通安全対策や、高齢者や障害者などが安全に活動できる社会を実現する歩行空間のユニバーサルデザイン化、地方版自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間整備を推進する。	R3～R7	通学路等の要対策箇所における安全度の向上 対策済み延長／要対策延長 初期値：30%　中間：64%　最終：77% 自転車通行空間における安全度の向上 整備済み延長／整備計画延長 初期値：－　中間：40%　最終：52%	・通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策 ・未就学児が日常的に集団で移動する経路における交通安全対策 ・鉄道との結節点における自由通路等の歩行空間のユニバーサルデザイン化 ・地方版自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間整備
	40	**国土強靭化地域計画に基づく道路の防災・減災対策及び災害時にも輸送を支える道路整備推進** **【重点計画】**	北海道の強靭化を図るため、国土強靭化地域計画に基づく防災・減災対策を推進し、重要物流道路の脆弱区間の代替路や、災害時拠点への補完路、災害時にも地域の輸送等を支える道路ネットワークを強化する。	R5～R9	道路危険箇所の対策率の向上 対策済み箇所数／要対策箇所数 初期値：0%　中間：75%　最終：88% 災害時にも地域の輸送等を支える道路の対策率向上 対策済み延長／要対策延長 初期値：0%　中間：65%　最終：89%	・防災系改築 ・防災対策（落石、地すべり、越波、冠水等） ・橋梁耐震補強 ・雪寒（防雪対策、路盤改良等） ・バイパス、線形改良、現道拡幅等 ・新設、バイパス整備、車線数の増加する道路拡幅に伴う無電柱化
社会資本整備総合交付金	41	**道内各地域の活力向上、国際競争力強化に資する道路ネットワークの機能向上・交通環境形成**	輝きつづける北海道を創造するため、国際競争力強化に資する交通・物流拠点へのアクセス機能向上や、道内主要拠点と観光地等を結ぶ道路ネットワークの充実、地域の実情に応じた道路網や街並み・景観に配慮した都市内交通環境の形成、道民の暮らしに必要なインフラ機能の確保により、将来にわたって心豊かに住み続けることができる活力ある地域社会の形成を目指す。	R5～R9	走行環境改善度の向上 対策済み延長／要対策延長 初期値：39%　中間：48%　最終：53%	・IC、新幹線駅、在来線駅、空港、港湾等へのアクセス道路整備 ・バイパス、線形改良、現道拡幅等 ・道の駅関連事業
	42	**新幹線駅等の整備と連携した都市内輸送の効率化を図るアクセス道路の整備推進** **【重点計画】**	北海道新幹線（新函館北斗～札幌）の整備など交通拠点の整備が進められ、北海道内の交通体系が大きく変わることから、北海道新幹線駅などの交通拠点整備と連携したアクセス道路の強化や都市内輸送の効率化を図る。	R6～R12	新幹線駅周辺の公共空間利用向上 新幹線駅周辺公共空間+利用数／現新幹線駅周辺公共空間+利用数 初期値：100%　中間：100%　最終(2期)：210% 新幹線駅などの交通拠点周辺の交通量 幹線道路等の将来交通量／幹線道路等の現在交通量 初期値：100%　中間：100%　最終(2期)：104%	・駅前広場 ・新幹線駅等の整備と供用時期を連携したアクセス道路整備

令和8年度以降の整備計画（パッケージ）

分類	番号	計画（パッケージ）名称	計画の目標	計画期間	アウトカム指標	対象事業の主な施策
防災・安全交付金	39	**防災・安全を支える道路ネットワーク強化**	暮らしの安全・安心を確保するため、防災・減災・老朽化対策や交通安全対策等を推進し、積雪寒冷・広域分散型社会を支える北海道の道路ネットワークを強化する。	R5～R9	道路危険箇所の対策率の向上 対策済み箇所数／要対策箇所数 初期値：27%　中間：40%　最終：49% 交通安全対策率の向上 対策済み延長／要対策延長 初期値：0%　中間：46%　最終：61%	・防災系改築 ・防災対策（落石、地すべり、越波、冠水等） ・橋梁耐震補強 ・雪寒（防雪対策、路盤改良等） ・雪寒機械（更新・増強） ・歩道整備（新設、現道拡幅、歩道、自歩道等） ・視距改良、交差点改良、中央帯、カラー舗装、端末防護、 ・修繕　※個別施設計画に基づく道路構造物修繕を除く
	43	**通学路等の生活空間における交通安全対策推進** **【重点計画】**	暮らしの安全・安心を確保するため、通学路交通安全プログラム等に基づく要対策箇所の交通安全対策や、高齢者や障害者などが安全に活動できる社会を実現する歩行空間のユニバーサルデザイン化、自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間整備を推進する。	R8～R12	通学路等の要対策箇所における安全度の向上 対策済み延長／要対策延長 初期値：19%　中間：53%　最終：70% 自転車通行空間における安全度の向上 整備済み延長／整備計画延長 初期値：28%　中間：56%　最終：72%	・通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策 ・鉄道との結節点における自由通路等の歩行空間のユニバーサルデザイン化 ・自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間整備
	40	**国土強靭化地域計画に基づく道路の防災・減災対策及び災害時にも輸送を支える道路整備推進** **【重点計画】**	北海道の強靭化を図るため、国土強靭化地域計画に基づく防災・減災対策を推進し、重要物流道路の脆弱区間の代替路や、災害時拠点への補完路、災害時にも地域の輸送等を支える道路ネットワークを強化する。	R5～R9	道路危険箇所の対策率の向上 対策済み箇所数／要対策箇所数 初期値：0%　中間：75%　最終：88% 災害時にも地域の輸送等を支える道路の対策率向上 対策済み延長／要対策延長 初期値：0%　中間：65%　最終：89%	・防災系改築 ・防災対策（落石、地すべり、越波、冠水等） ・橋梁耐震補強 ・雪寒（防雪対策、路盤改良等） ・バイパス、線形改良、現道拡幅等 ・新設、バイパス整備、車線数の増加する道路拡幅に伴う無電柱化
社会資本整備総合交付金	41	**道内各地域の活力向上、国際競争力強化に資する道路ネットワークの機能向上・交通環境形成**	輝きつづける北海道を創造するため、国際競争力強化に資する交通・物流拠点へのアクセス機能向上や、道内主要拠点と観光地等を結ぶ道路ネットワークの充実、地域の実情に応じた道路網や街並み・景観に配慮した都市内交通環境の形成、道民の暮らしに必要なインフラ機能の確保により、将来にわたって心豊かに住み続けることができる活力ある地域社会の形成を目指す。	R5～R9	走行環境改善度の向上 対策済み延長／要対策延長 初期値：39%　中間：48%　最終：53%	・IC、新幹線駅、在来線駅、空港、港湾等へのアクセス道路整備 ・バイパス、線形改良、現道拡幅等 ・道の駅関連事業
	42	**新幹線駅等の整備と連携した都市内輸送の効率化を図るアクセス道路の整備推進** **【重点計画】**	北海道新幹線（新函館北斗～札幌）の整備など交通拠点の整備が進められ、北海道内の交通体系が大きく変わることから、北海道新幹線駅などの交通拠点整備と連携したアクセス道路の強化や都市内輸送の効率化を図る。	R6～R12	新幹線駅周辺の公共空間利用向上 新幹線駅周辺公共空間+利用数／現新幹線駅周辺公共空間+利用数 初期値：100%　中間：100%　最終(2期)：210% 新幹線駅などの交通拠点周辺の交通量 幹線道路等の将来交通量／幹線道路等の現在交通量 初期値：100%　中間：100%　最終(2期)：104%	・駅前広場 ・新幹線駅等の整備と供用時期を連携したアクセス道路整備